

第43巻 第4号 予告

特集「医薬品の品質，有効性，安全性の確保」

新医薬品の安全性評価（仮題）	三沢 馨
新医薬品の臨床評価（仮題）	森 和彦
医薬品の市販後調査（仮題）	野村由美子
医薬品評価と薬剤疫学（仮題）	藤田利治
医薬品製造における品質保証とバリデーション（仮題）	森川 馨
医薬品の製造管理及び品質管理とGMP査察（仮題）	村田俊郎
医薬品の品質管理と試験法のバリデーション（仮題）	浮島美之

編集後記

今年の夏は全国的な猛暑と渇水で、悲喜こもごもの話が伝わってくる。ビールの売上は飛躍的に伸びたが、屋上や野外のピヤガーデンは暑すぎて閑古鳥だったと聞いた。日本の景気回復のきざしも多少はこの暑さと水不足のおかげとか。いつの時代にも世の中は常に明暗は表裏一体であるようである。地域保健法が成立し、保健所に勤める方たちはこれからどうなるのか不安に思っておられる方も多い事であろう。地域保健法の解説は色々なところで目にされれると思うので、本号の特集は少し視点を変えて「地域保健医療の政策的動向」に焦点をあててみた。日本の地域保健医療はどの様な道を歩んできたのか、あるいは地域保健医療がこれから何を目指すのかを、しっかり見据えて地域保健活動をより一層活発なものにしていただきたいと思う。特集記事のうち、5編は英文で読みにくい面もあると思うが、和文要旨をつけたのでそれを参考に読破していただきたい。

内山 巖雄（労働衛生学部）